

Tourism EXPO Japan

メディアキット

東京

2026年9月24日～27日



目次 (もくじ)

03 イタリアの観光
調査局

07 イタリア：
地域とインフラ

12 イタリアの地域

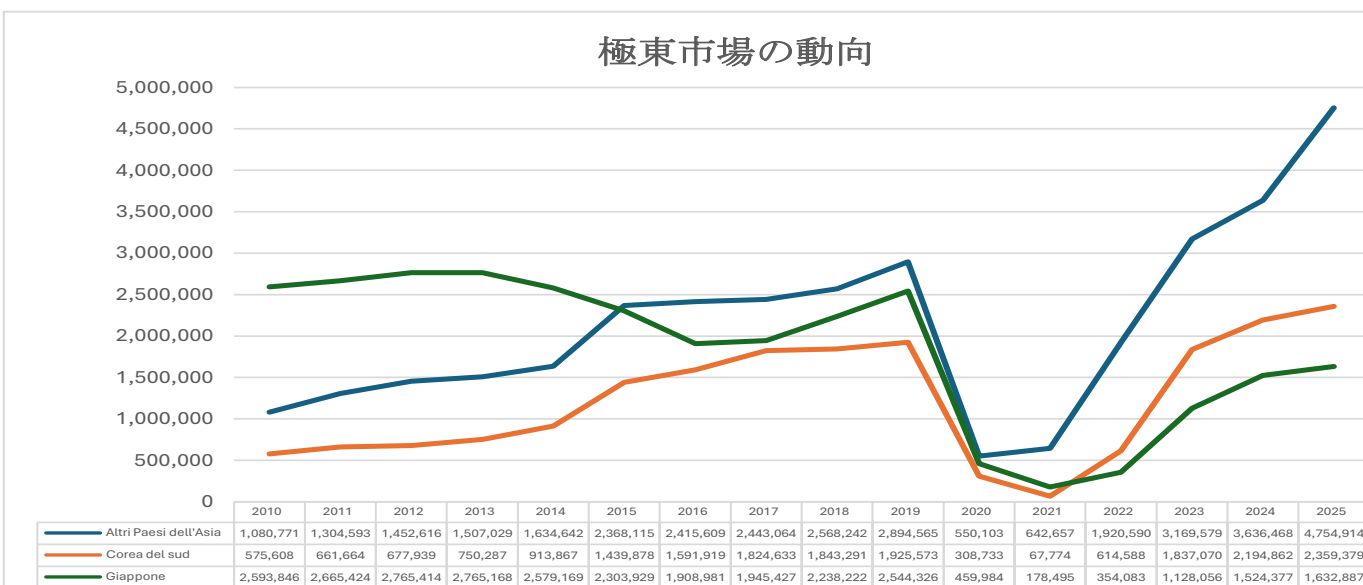
イタリアの観光 調査局

調査局

極東市場の可能性と日本市場の回復

極東地域（中国を除く）は、イタリアを訪れる外国人旅行者全体の2.9%を占めています。韓国市場が+310%の伸びを見せる一方で、日本市場は2019年に2010年当時の高い水準へと回復したとはいえ、日本からイタリアへの旅行需要は過去のような勢いを取り戻すには至っていません。しかし、パンデミック以降は全体的に回復の兆しを見せています。

極東市場の動向



出典：イタリア政府観光局（ENIT）リサーチ部門［イタリア国家統計局（ISTAT）データに基づく］

長期的に見ると、アジア市場からの旅行需要は力強い回復を示していますが、旅行消費額も増加傾向にあるものの、依然として旅行者数の伸び率を下回っているのが現状です。

- ・ 旅行者数：65万7,000人（前年比+18.3%）
- ・ 延べ宿泊数：720万泊（前年比+17.1%）
- ・ 消費額：13億1,000万ユーロ（前年比+0.4%）

中でも、近年になってヨーロッパ旅行市場への参入が本格化した国や地域が、特に高い成長を示しています。

- ・ 台湾：旅行者数+72.5%、旅行消費額+70.7%
- ・ フィリピン：旅行消費額+54.9%
- ・ ベトナム：旅行消費額+102.1%

とはいえ、極東地域からの旅行者数では、日本が最大の市場となっています。

実際、2025年には日本人旅行者によるイタリアでの宿泊数は約300万泊、旅行者数は約30万5,000人で、極東地域全体からの旅行需要のおよそ半分を占める見込みとなっています。旅行者数は前年比9.1%増、宿泊数も1.6%増となり、引き続き堅調な伸びが見込まれています。日本人旅行者による消費額は7億2,600万ユーロを超え、2024年比で-0.8%とわずかな減少にとどまっており、安定水準を維持しています。

国・地域別にみたイタリアへの外国人旅行者、宿泊数および旅行消費額

居住国・地域	2025 年			伸び率 (%) 2025 年/2024 年		
	イタリアを訪れた外国人旅行者数 (単位: 千人)	イタリアを訪れた外国人旅行者の宿泊数 (単位: 千泊)	イタリアを訪れた外国人旅行者の消費額 (単位: 百万ユーロ)	イタリアを訪れた外国人旅行者数 (単位: 千人)	イタリアを訪れた外国人旅行者の宿泊数 (単位: 千泊)	イタリアを訪れた外国人旅行者の消費額 (単位: 百万ユーロ)
韓国	138.01	1,272.89	303.60	20.3	-4.3	-6.3
フィリピン	62.93	957.97	83.34	38.1	45.8	54.9
日本	304.97	2,978.32	726.30	9.1	1.6	-0.8
マレーシア	42.90	284.32	62.61	56.8	-11.4	-8.9
モンゴル	0.02	0.11	0.02	該当なし	該当なし	該当なし
台湾	35.01	664.65	59.99	72.5	413.5	70.7
タイ	61.89	673.57	57.45	19.6	18.8	-31.1
ベトナム	11.12	374.12	19.38	-29.9	75.3	102.1
合計	656.86	7,205.94	1,312.67	18.3	17.1	0.4

出典：イタリア政府観光局（ENIT）リサーチ部門 [イタリア銀行のデータに基づく]

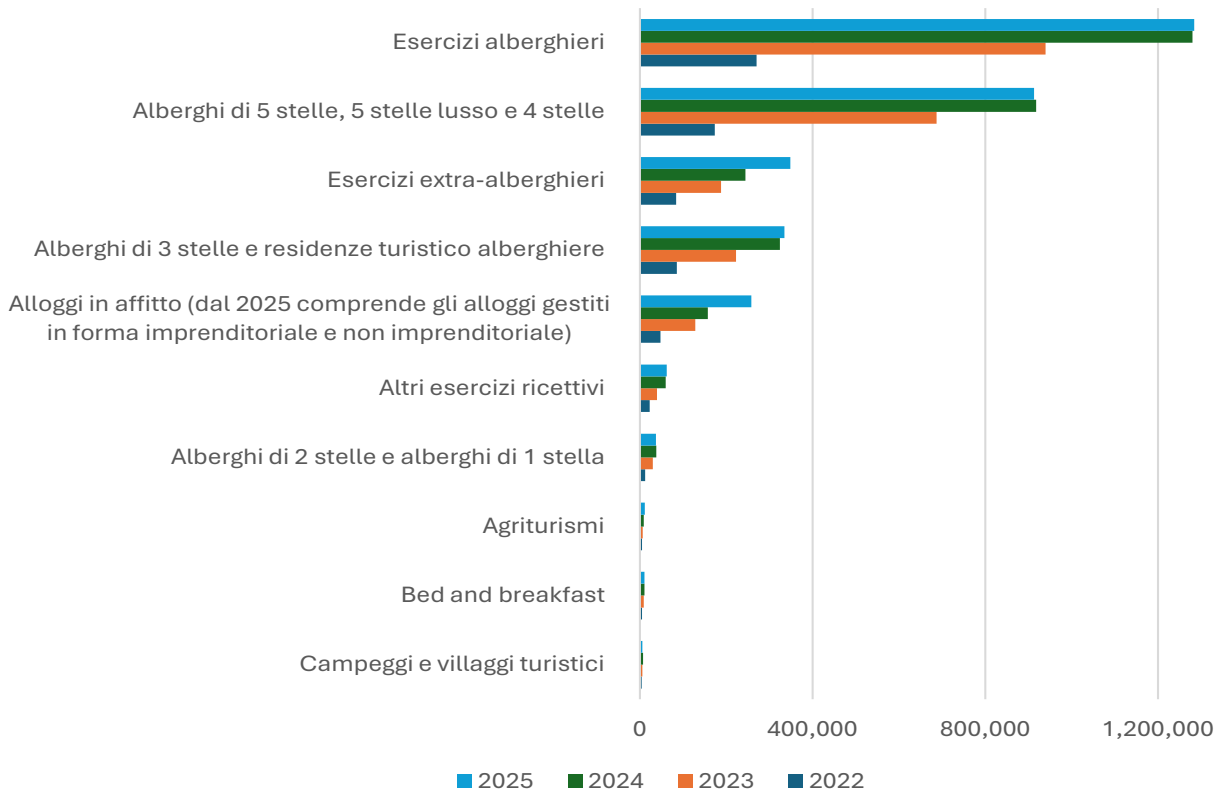
アジア太平洋地域は現在、ソウル、東京、台北、バンコクといった都市が航空便の予約数および検索数で上位を占めるという多様な市場環境にあります。つまりこのデータは、アジア各市場間の結びつきが強まっていること、そして域内航空ネットワークの重要性が高まっていることを示しています。

特に、今後12か月間（2026年7月から2027年6月）の日本発イタリア行き航空便予約数は16.7%の増加が見込まれており、出発地別では東京が73.9%、次いで大阪が16.3%と圧倒的な割合を占めています。

出発地	旅行者数_Y0	旅行者数_Y1	前年比	比率_Y0	比率_Y1
東京 (TYO)	240782	208319	15.6%	73.9%	74.7%
大阪 (OSA)	53056	44299	19.8%	16.3%	15.9%
福岡 (FUK)	10889	10190	6.9%	3.3%	3.7%
名古屋 (NGO)	3953	2709	45.9%	1.2%	1.0%
花巻 (HNA)	2561	1571	63.0%	0.8%	0.6%
福島 (FKS)	2187	1424	53.6%	0.7%	0.5%
札幌 (SPK)	1591	1200	32.6%	0.5%	0.4%
下地島 (SHI)	1168	843	38.6%	0.4%	0.3%
高知 (KCZ)	974	822	18.5%	0.3%	0.3%
函館 (HKD)	952	904	5.3%	0.3%	0.3%
石垣 (ISG)	851	770	10.5%	0.3%	0.3%
旭川 (AKJ)	807	723	11.6%	0.2%	0.3%
帯広 (OBO)	606	583	3.9%	0.2%	0.2%
秋田 (AXT)	549	525	4.6%	0.2%	0.2%
釧路 (KUH)	518	491	5.5%	0.2%	0.2%

出典：イタリア政府観光局（ENIT）リサーチ部門 [ForwardKeys（フォワードキーズ）データに基づく]

宿泊施設タイプ別にみた日本人旅行者宿泊数の推移



出典：イタリア政府観光局（ENIT）リサーチ部門［イタリア国家統計局（ISTAT）データに基づく］

2022年から2025年までのイタリア国内宿泊施設における日本人旅行者の延べ宿泊数の推移を分析すると、パンデミック後の力強い回復と宿泊施設の選択に段階的な多様化の傾向が見られますが、中・高級ホテルを中心とする宿泊形態が依然として大きな割合を占めています。

延べ宿泊数の合計は以下のとおりです。

- 2022年：354,083泊
- 2023年：1,128,056泊
- 2024年：1,524,377泊
- 2025年：1,632,887泊

このような増加を記録しており、2022年から2025年にかけて全体で361%の増加、つまり延べ宿泊数は127万泊以上増加しています。

さらに、2025年の延べ宿泊数は2024年比でも160万泊を超え、前年比7.1%増となっています。

日本人旅行者にとってホテルは依然として主要な選択肢となっており、全体の延べ宿泊数の78.7%を占めています。これは、日本人旅行者が高い品質基準を備えた施設、整備されたサービス、主要観光地における利便性の高い立地を重視する傾向が依然として強いことを示しています。

宿泊先として最も選ばれているのが4つ星・5つ星ホテルで、イタリアにおける日本人旅行者の延べ宿泊数の55.9%、ホテルへの宿泊に限定するとその割合は71%を占めています。

一方で、日本人旅行者の需要には拡大・多様化の傾向が現れており、2022年以降は3つ星ホテルやレジデンス型宿泊施設などの中価格帯の宿泊施設の利用も増加し、2022年比で293%増となっています。特に賃貸宿泊施設はさらに大きな伸びを見せており、441%増という著しい伸びを示しています。2025年には、賃貸宿泊施設がイタリアにおける日本人旅行者市場全体の15.8%を占めています。

この傾向は、旅行者の旅行スタイルに変化が生じていることを示しており、より自由度の高い滞在、日常に近い体験、そしてより長期の滞在を求める傾向が強まっていることを示しています。

イタリア： 地域とインフラ

イタリア各州 と州都



高速鉄道停車駅

出典: トレニタリア (Trenitalia) およびイタリア国鉄グループ (Ferrovie dello Stato: FS)



イタリアの主要港 2024年の州への到着数 [フェリーおよび クルーズ船)に基づく

出典: ENIT調査研究部
(港湾協会-Assoportiのデータに基づく)



イタリア各州の主要な国際空港 (2024年)

出典: ENIT 調査研究部 [イタリア空港協会-
Assaeroportiのデータに基づく]



イタリアの 地域

アブルッツォ州



Credit: Regione Abruzzo

アブルッツォ州は、多様で貴重な歴史、文化、景観遺産に恵まれた、人々を魅了する土地です。古いレンガやむき出しの石が温かな表情を見せる中世の村々、自然の中に佇む趣深い隠遁所、修道院、歴史ある広場、壮大な古代遺跡の公共広場、温泉、神殿、劇場、円形劇場、岩窟信仰の聖地など、その見どころは尽きません。

古代の移牧路や魅力的なトラボッキ（伝統的な漁師小屋）、散策路、修道院、手つかずの自然に囲まれた中世の村々、清らかな滝、自然のままの景観、公園や自然保護区、そびえ立つ山々や緑豊かな丘陵、魅力的な村や芸術都市、そして砂浜と岩場の海岸が織りなす「子供たちの海岸」と呼ばれる海辺まで、様々な魅力が詰まっています。「子供たちの海岸」には砂浜と岩場の海岸線が広がり、家族連れやスポーツを楽しむ人々にとっての楽園です。

グラン・サッソの乗馬ルートを駆け抜けたり、岩盤を登ったり、アヴェンティーノ川でスリル満点のラフティングを体験したり、オルタ川の上空でバンジージャンプを楽しんだり、アブルッツォでのアクティビティは単なる目的ではなく、この素晴らしい土地の類まれな自然環境を存分に味わうための手段そのものです。山好きには数百ものトレッキングコースがあり、州内にはさまざまな巡礼路や長距離ウォーキングルートも用意されています。

伝統的な農産物（PAT）からスローフード・プレシディオ、DOPやIGP認証製品に至るまで、アブルッツォ州は豊かな食の生物多様性という、計り知れない財産を誇っています。その恵みにより生まれる料理は、食材と香りが織りなす地中海料理であり、素朴でありながらも気品を備え、シンプルでありながらも華やかな魅力を持っています。山間部に根付く農牧文化や農民の伝統から生まれた郷土料理から、海岸沿いの海の幸を生かした料理まで、幅広い味わいが楽しめます。

観光プロフィール

「アブルッツォを旅することは、歴史、芸術、美味しい料理、そして四季折々に表情を変える息をのむような風景の中、穏やかな過去、静かで和やかな時代へとタイムスリップするような感覚です。玄関先に座って玉ねぎを編み込むエプロン姿のおばあさんたち。コンピューターゲームではなく、外でサッカーに興じる子供たち。大型スーパーマーケットではなく、露店のメルカートで買い物して、自家製ワイン作ったり、地元のワイナリーでワインを購入したりする家族。この楽園のような地域の生活において、もう一つ重要なのが食です。多くのトラットリアでは、昔ながらの伝統を守り、先代から受け継がれてきた調理方法そのままにお料理が作られています。海岸部では魚介料理が中心ですが、内陸部ではヤギや仔羊、イノシシ料理が食卓の主役です。キャスリーン・ペディコード（ハフィントンポスト）も、自身の記事「イタリアで引退生活を送る方法」の中で、アブルッツォ州がベビーブーマー世代にとって世界で5番目に住みやすい場所であり、

イタリアで最高のライフスタイルを叶えてくれる場所としてアブルッツォ州を高く評価しています。



Credit: Regione Abruzzo

5つの豆知識

プレゼントーザとは、アブルッツォ州を代表する宝飾品で、金細工芸術の傑作であると同時に、身に着けることでメッセージを伝えることのできるジュエリーです。現在も、スルモーナ、ペスコスタンツォ、スカノ、グアルディアグレレといった熟練の金細工師によって作られています。2009年に開催されたG8サミットでは、各国のファーストレディに、この州の象徴としてプレゼントーザが贈られました。

伝説によると、ロッカスカレーニャ城の塔にある岩に残る血まみれの手の跡は、1646年、「初夜権 (Ius Primae Noctis)」を行使している際に殺害されたコルヴォ・デ・コルヴィス男爵のものだと言われています。

天体観測が好きな方におすすめなのが、アブルッツォ州の「リトルチベット」と呼ばれるカンポ・インペラトーレです。ヨーロッパでも大気汚染の少ない空が広がり、世界中のアマチュア天文家が集う聖地であり、イタリア有数の天文台が建てられています。

アブルッツォ州には、「呼吸の村々全国協会」(Associazione Nazionale Borghi del respiro) に加盟する34の村があり、そこに広がる空気と環境の良さが心身の健康を取り戻すための癒しの場となっています。

アクイラには、歴史ある建築と国際で活躍するストリートアーティストたちが手がけた壁画などの現代アートが調和する美しい中世の村アイエッリがあり、その路地や家々の間を散策するだけで特別な体験を楽しめます。8月には、ストリートアート、音楽、パフォーマンス、天文学の祭典「ボルゴ・ウニヴェルソ」が開催されます。



今後のイベント



トルナレッツォ レジーナ・ディ・ミエレ (Tornareccio Regina di Miele) – トルナレッツォ (キエーティ県) – 9月

[LINK](#)

ボルゴ・ル
ラーレ (Borgo Rurale) – トレリオ (キエーティ県) のと 新物ワインとオリーブオイルの収穫祭 – 11月

[LINK](#)



グロリエ・ディ・サン・マルティノー (Le glorie di San Martino) – スカンノ (アクイラ県) – 11月

[LINK](#)

イ・ファウニ (I Faugni) – アトリ (テルモ県) – 12月

[LINK](#)



Website <https://abruzzoturismo.it> E-mail info@abruzzoturismo.it

バジリカータ州

海と山が会い、鷹が天空をゆったりと舞うさまざまな魅力が詰まっているのがバジリカータ州です。ユネスコ世界遺産に登録され、2026年には地中海文化首都にも選ばれたマテーラの洞窟住居には陶芸や木工彫刻工房が軒を連ねています。薪窯で焼き上げるマテーラパンや古くから農民の祭りで食べられてきた豆のスープ「クラピアータ」など、この地では伝統の食文化も受け継がれています。ティレニア海沿岸のマラテーアは、ひっそりとした入り江と、44の教会が立ち並ぶ歴史地区があり、草を編んだ紐で作られる工芸品リッバーニと海と山の幸を生かした郷土料理も楽しめます。イオニア海沿岸のメタポントとノーヴァ・シーリの間には、ピタゴラスゆかりの地とされているタヴォレ・パラティーネがあり、内陸部では高品質なイチゴブランド「カンドンガ」が栽培されています。州内には豊かな自然を守る大きな自然公園が広がっています。2つの国立公園（ポッリーノ国立公園とアペニーノ・ルカーノ＝ヴァル・ダグリ＝ラゴネグレーゼ国立公園）とヴルトゥーレ州立公園は、豊かな森やカルデラ湖、そして希少なヨーロッパイボタガなど、珍しい生物たちの王国となっています。アリアニコワインと栗の産地として有名なヴルトゥーレには、メルフィにあるノルマン・シュヴァーベン様式のお城があり、フリードリヒ2世の憲章の記憶を今に伝え、その一方で職人の工房では銅細工や木工加工技術が代々受け継がれています。州内各地では、収穫祭や守護聖人祭、宗教行列などが一年を通して行われ、素朴で本物の地域文化が、観光地化されすぎることなく今も息づいています。



Credit: Regione Basilicata



Credit: Regione Basilicata

観光プロフィール

本物志向で、ユネスコ世界遺産や伝統工芸、そして昔ながらの職人文化と歴史ある小さな村々に関心を持つ旅行者が注目する目的地となっています。パン、チーズ、アリアニコワイン、伝統菓子などの本格的な食とワイン文化を体験したり、陶芸やリッバーニ、銅細工の職人工房を訪れたり、地域に根付いたお祭りに参加したり、ここにしかない経験を求める旅行者、特にカップルや少人数のグループ旅行に最適です。また、治安も良く、町も清潔で、家族的なもてなしも高い評価を受けています。マテーラはローマやナポリ、プーリアを組み合わせた周遊旅行にも適しており、マテーラ2026の各イベントや秋の美食シーズン（栗、ぶどうの収穫）など、年間を通して長く楽しめるのも人気です。

5つの豆知識

マテラは、エリコとアレppoに次いで、継続して人が住み続けている街として世界3番目に古い街で、その集落の起源は約1万年前にまでさかのぼります

マラテアの内陸部のラゴネグロでは、ある職人一族が120年以上にわたって塔時計を作り続けており、世界各地へと輸出されています。このような専門工房はイタリア中南部では唯一の存在です

メルフィのサグラ・デッラ・ヴァローラでは、毎年10月、歴史地区の広場に置かれた巨大なフライパンでヴルトゥーレ産の栗を焼き、その収穫を祝います

メタポンテでは、ピタゴラスが有名な哲学学校を設立し、紀元前495年、この地で亡くなったとされています。タヴォレ・パラティーネは、ピタゴラス学派としても知られています

この地域を代表するワインであるアリアニコ・デル・ヴルトゥーレは、火山性土壌で栽培されています。ギリシャ人によってもたらされとされており、詩人であるホラティウスの時代にはすでに高く評価されていました



今後のイベント



2026年の夏、バジリカータ州では多彩なイベントが予定されています。マテラでは、地中海文化首都関連プログラム引き続き開催され、カヴァ・デル・ソーレでのコンサートや「マテラ・チェロ・ステラート」イベント（9月26日）などが予定されています。マラテアでは、「マラテア・イン・シェーナ」プログラムが開催され、演劇、ジャズ、そして映画やテレビのスターが出演するマラテア・フェスティバルが楽しめます。ヴルトゥーレでは、ニンフェア・フェスティバル（7月30日から8月2日）がモンティッキオ湖群に活気を与えます。マテラのトゥルシでは、7月26日、地元の味覚の宝石の収穫を祝う「サグラ・デッラ・ペルコカ」が行われます。このような祝祭は州全域で繰り広げられます。そして12月には、マテラのサッシン地区で恒例となっている「生きたキリスト降誕劇（プレセーペ・ヴィヴェンテ）」が開催されます。

Website www.basilicataturistica.it E-mail info@aptbasilicata.it

カラブリア州

古代文明の交差点であり、何千年にもわたる伝統を守り続けるカラブリアは、地中海と山々が会える、魅力的で多様性に富んだ土地です。ティレニア海とイオニア海に囲まれたこの地域は、透き通った海を見下ろす海岸線から国立公園の森林、歴史的な村々やマグナ・グラエキア時代の遺跡まで、変化に富んだ景観が広がっています。

時の流れの中でも、ありのままの価値が守り続けられている地域です。中世の村々、ユネスコ世界遺産、貴重な芸術文化遺産、歴史的な邸宅、城、そして小さな町々が、この地に深く根付いた文化を物語っています。歴史的遺産に加え、地域に根付いた工芸と食文化の豊かな伝統があり、地元産品、ワイン、エキストラバージンオリーブオイル、そして土地ならではの味わいを楽しむことができます。

カラブリアは、自然散策、文化体験、アウトドアアクティビティ、ウェルネス、そして地域に広がるおもてなしなどを通じて、ゆったりとした旅へと誘います。国内外の航空路線の拡大により、ヨーロッパをはじめとする世界各国からの旅行者にとって、ますますアクセスしやすい地域となっています。



Credit: Regione Calabria



Credit: Regione Calabria

観光プロフィール

カラブリアは、屋外で楽しむ文化・芸術・自然体験に関心を持つ旅行者にとって理想的な目的地です。

歴史遺産、景観、美食、そしてこの地域の伝統を組み合わせた体験やゆったりとした滞在、そして没入型の体験を通して、あまり知られていないイタリアを発見したい方に最適です。特に、小さな村、遺跡、トレッキング、巡礼路、スピリチュアルな旅、持続可能な観光、そして地域社会との直接的な交流を愛する人々に高く評価されています。

四季それぞれに異なる魅力があり、一年を通じて楽しめるのがこのカラブリア州です

5つの豆知識

サン・ニコラ・アルチェッラのアルコマーニョでは、壮大な夕日を楽しめます。

ロッサーノの教区博物館と写本博物館には、6世紀に遡るギリシャ語の福音書「コデックス・プルプレウス・ロッサネンシス」が所蔵されています。

生物多様性に富み、一年を通してアウトドアを楽しめるシラ国立公園の緑豊かな森林は、旅行者に感動的な景色と手つかずの自然を提供します。

レッジョ・カラブリア国立博物館には、ギリシャ美術を代表する彫刻の傑作リアーチェの青銅像が所蔵されています。

シラの漁村キアナレアの海辺で楽しむロマンチックなディナーは、忘れられない思い出となるでしょう。



今後のイベント

カラブリア州では、年間を通してアート、音楽、映画、文化、食とワインをテーマにした多彩なイベントが開催されています。主なイベントには、ペペロンチーノ・フェスティバル、アルモニエ・ダルテ・フェスティバル、マグナ・グラエキア映画祭、遺跡劇場フェスティバル、ビー・オルタナティブ・フェスティバル、フェリーチ&コンフレンティ・トラマンダメンティ、アルティンヴィーヴォ・フェスティバル、トランスマンツェ・シーラ・フェスティバルなどがあります。ほかに、歴史ある村々で開催されるさまざまな催し、国立公園でのイベント、そしてカラブリア州の素晴らしさを称えるイベントなど、数多くのイベントが開催されます。詳しくは (<https://calabriastroordinaria.it/en/events>) をご覧ください。



Website <https://calabriastroordinaria.it> E-mail calabriastroordinaria@regione.calabria.it

カンパニア州

カンパニア州は、旅人によって異なる表情を見せる魅力あふれる地域です。四季折々の風景、そしてそれぞれの地域や人々がもたらす多様な魅力が、旅を特別でかけがえのない体験へと変えてくれます。

海に面した象徴的な観光地から、手つかずの自然が残る内陸部の風景まで、カンパニア州は州全域にわたって観光客の流れ、機会、そして地域の発展を生み出す、多彩な観光の魅力を提供しています。ナポリは、歴史地区、ヴェスヴィオ山、ポンペイ、ヘルクラネウム、ソレント半島、そしてカプリ島、イスキア島、プロチダ島を通して、地中海のエネルギーを伝えています。

サレルノは、アマルフィ海岸、チレントおよびヴァッロ・ディ・ディア

ーノ国立公園、パエストゥム、そしてパドゥーラ修道院など、魅力的なスポットで人々を魅了します。カゼルタには、壮麗なカゼルタ王宮、中世の町並みを残すカゼルタヴェッキア、そしてマテーゼ国立公園があります。

アヴェッリーノは、タウラージのぶどう畑、多くの村々、ラチェーノ湖畔の森、そしてアペニン山脈のトレイルなど、イルピニア地方の魅力を発見する旅へと誘います。

そしてベネヴェントは、トラヤヌスの凱旋門、ユネスコ世界遺産に登録されているサンタ・ソフィア教会、そしてワイン、伝統、古代の交易路が息づくサンニオの風景を通して、サムニウム人とロンバルド人の歴史を物語ります。

定番の観光名所を越え、ありのままで驚きに満ちたカンパニアの

魅力が散りばめられた多彩な体験はまるでモザイクです。

カンパニア州では、ゆったりとした時間を過ごし、人々と交流し、古くからの続く職人技、農産物、食文化、そして海、丘陵、内陸部が織りなす変化に富んだ景観をお楽しみいただけます。過去と未来が共存するこの地は、一年を通して、その土地の息吹を深く感じるサステナブル(持続可能)で、誰もが快適に楽しめる旅を提供しています。

こうして、それぞれの旅は、訪れる人と共に変化していく発見の旅となり、好奇心、文化を越えた交流、そして本物の思い出作りのための余白を、私たちの心に残してくれるのです。

観光プロフィール

ここは、好奇心旺盛な旅行者、リピーター、文化、自然、美食、ウェルネスを愛する旅行者に最適です。カンパニア州では、スローな旅、上質な滞在、パーソナライズされた旅程、体験型観光、巡礼やハイキングコース、温泉、スピリチュアルな旅、ラグジュアリーな旅、そしてサステナブルツーリズムを提供しています。多様な景観は、一度の旅行で様々な体験が可能となり、より長期的な滞在を促しながら、州全域をバランスよく発見する旅を実現します。



5つの豆知識

カンパニア州には、ヨーロッパでも特に有名なユネスコ世界遺産が数多く存在します。活火山と世界的に有名な2つの海岸、島々、山々、そして国立公園まで、そのすべてが揃うイタリア唯一の州です。

5つの県には、古代から現代美術に至るまで、3000年以上の歴史が息づいています。

DOP、IGPに認定された農産物や、名高いワインなど、世界的に知られるイタリアの食の逸品が数多く生まれています。

歴史的な巡礼路、巡礼者の道、古代の交易路が州全域を横断し、海岸部と内陸地域を結んでいます。



今後のイベント

プラエセンティア「Gusto di Campania Divina」

2026年6月から12月

プラエセンティア「Gusto di Campania Divina」は、カンパニア州の観光振興プロジェクトです。第2回目となる今年は、地域全体で開催される多彩なイベントを通じて、文化、景観、食文化の卓越した魅力を発信します。このプロジェクトは、カンパニア州が本来持つありのままの魅力を伝え、有名な観光地からあまり知られていない観光地まで、新たな発見へと誘うものです。そして、一年を通じて地域全体に広がる、持続可能で文化的・体験型の観光を推進します。



Website www.regione.campania.it

エミリア＝ロマーニャ州

エミリア＝ロマーニャ：イタリアの本質が詰まった土地
イタリアの中心に位置するエミリア＝ロマーニャ州は、国が誇る最良の宝物、そして「ラ・ドルチェ・ヴィータ」に象徴されるライフスタイルが、最も本物の形で花開く地域です。この地域には、歴史、文化、芸術的遺産で称えられる10の著名な芸術都市と、数多くのユネスコ認定遺産があります。アペニン山脈からポー川デルタに至るまで、手つかずの自然が国立公園や州立公園に広がり、中世からルネサンス期に建てられた城や要塞が点在しています。エミリア＝ロマーニャ州はまた、フェラーリ、マセラティ、ドゥカティ、ランボルギーニを擁する伝説的なモーターバレーを誇り、さらに優れたスポーツ施設、温泉、110キロに及ぶ海岸線、そしてあらゆる世代の訪問者がスポーツ、ウェルネス、イベントを楽しめるアドリア海沿岸のリビエラがあります。この地域は音楽でも同様に有名です。パルマのヴェルディ音楽祭やラヴェンナ音楽祭には世界中から観客が集まり、オペラや交響楽のシーズンも一年を通して盛況です。エミリア＝ロマーニャ州はまた、ルチアーノ・パヴァロッティの生誕地としても称えられています。何よりも、エミリア＝ロマーニャ州はイタリアの食とワインの宝庫です。パルマ産プロシュート、伝統的なバルサミコ酢、パルミジャーノ・レッジャーノ、手打ちの生パスタ、そしてそれらと美しく調和するワインは、イタリアの代表的な美食の卓越性を示しています。訪問者は伝統的な食材の秘密を探ったり、パスタ作りの教室に参加したり、家庭料理の守護者であるカーサ・アルトゥージを訪れたり、地域で愛されるストリートフードのピアディーナを楽しんだり、活気ある市場で特産品を購入したり、食文化に特化した博物館を訪れたりすることができます。エミリア＝ロマーニャ州は、イタリアの本物の魅力を存分に味わうことができる場所なのです。



Credit: SA Laura Giovannini



Credit: NC_Lola A. Åkerström

観光プロフィール

エミリア＝ロマーニャ州は、本物の質の高い体験を求める旅行者に最適な旅行先です。文化、芸術、ユネスコ世界遺産に関心のある方はもちろん、美食家、家族連れ、ビーチリゾートを楽しみたい方、サイクリングやトレッキング、アウトドアを愛する方、モータースポーツファン、ウェルネス志向の方、ショッピングを楽しみたい方まで、幅広い層の旅行者を惹きつけています。

短期の都市旅行やエミリア街道を巡るロードトリップ、ゆったりとしたバカンス、食とワインを満喫する旅、アクティブな観光、プレミアムな旅行まで、さまざまな旅のニーズに対応できる理想的な目的地となっています。

また、数多くの国際イベント、ボローニャ、リミニ、パルマ、フォルリの国際空港、そして充実した高速鉄道ネットワークのおかげで、この州は一年を通してアクセスしやすく、魅力的な観光地として愛されています。

5つの豆知識

紀元前187年に建設されたエミリア街道は、州内を260 km以上にわたって横断する幹線道路として、現在も利用されています。

DOP・IGP認証を受けた食品が45品目にのぼり、イタリア屈指の認証食品の集積地となっています。

17のユネスコ認定・登録遺産

トレッキング愛好家に最適な22のトレイルが州内を縦横に走っています。

イタリア最多となる116の歴史ある劇場があります。



今後のイベント

2027年は祝賀ムードに包まれる一年となります

2027年は、数々の記念イベントによって祝賀ムードに満ちた一年となる

でしょう。モーターバレーの中心地ではフェラーリが創業80周年を

迎え、リミニのガッリ劇場では、ジュゼッペ・ヴェルディが指揮し

た開場から170周年を祝います。モデナでは、ルチアーノ・パ

ヴァロッチの没後20周年を記念するイベントが開催され

ます。エミリア街道沿いでは、音楽、モータースポーツ、

芸術、そしてイタリアのライフスタイルをテーマとした

展覧会やフェスティバル、文化イベントが各地で開

催されます。これらの催しは、地域の活気ある

アイデンティティと創造性を力強く発信する

ものとなるでしょう。



Website www.emiliaromagnaturismo.it E-mail emiliaromagnaturismo@aptservizi.com

フリウリ＝ヴェネツィア・ジュリア州



Credit: @Fabrice Gallina

アルプス山脈とドロミテ山脈の峰々、アドリア海の波打ち際まで1時間半ほどで移動し、優雅な都市の広場、村の小道、ユネスコ世界遺産、そして世界最高級の白ワインが生産されるコッリオとコッリ・オリエンターリの丘陵地帯を巡ると、このひとつの地域に、イタリアが常に旅行者に愛されてきた理由となる魅力が凝縮されていることを実感することでしょう。オーストリアとスロベニアと国境を接し、ヨーロッパの中心に位置するイタリア北東部という立地を活かし、古くからの伝統に今も結びついている。真に豊かで本物の土地が、まさに宝物であり、まだ発見されていないイタリアの一部へと昇華しています。

観光プロフィール

フリウリ＝ヴェネツィア・ジュリア州は、その小さな面積に、豊かな生物多様性と文化が凝縮されている州で、イタリアを知り、そして同時に新しいディスティネーションを発見したい旅行者を魅了します。大自然を満喫したい人から豊かな暮らしと心身ともにリラックスできる休暇を求める人まで、ここには文化や歴史、スローツーリズム、そしてアドレナリン全開のアクティビティはもちろん、食文化や伝統文化など、多彩な体験とサービスが揃っています。家族連れやアウトドア・サイクリング愛好家はもちろん、富士山とゾンコラン山との特別な友好関係も、日本とフリウリ＝ヴェネツィア・ジュリア州とをつないでくれます。記憶に残る美食体験と文化体験を求める人は、例えばトリエステの歴史的なカフェの伝統を知るなど、ワインと味覚街道に点在する歴史豊かな本物の街と村々を発見することができるでしょう。歴史ある村々や自然保護区が点在し、独自性と素朴な魅力に溢れるこの土地は海と山と丘が近く、あらゆる角度から体感できる旅先となっています。



Credit: @Ulderica Da Pozzo

5つの豆知識

4つの主要都市：トリエステ、ウーディネ、ゴリツィア、ポルデノーネ

5つのユネスコ世界遺産：アクイレイア、チヴィダーレ・デル・フリウリ、ドロミティ・フリウラネ、パルマノヴァ、パル・ディ・リヴェンツァ

ワイン&味覚街道が6つ、DOC認証ワイン産地が9つ、年間ワイン生産数9,000万本、世界的に評価された白ワイン

6つのスキー場：フォルニ・ディ・ソプラ (サウリス)、ラヴァスクレット (ゾンコラン)、ピアンカヴァッロ、サッパーダ (フォルニ・アヴォルトリ)、セツラ・ネヴェア、タルヴィージオ

130 kmの海岸、2つの主要なビーチ：リニャーノ・サッビアドーロ、グラド



今後のイベント

9月

Gusti di Frontiera (ゴリツィア、9月24日～27日)
世界各国の多彩な料理を楽しめるフェスティバルです。

10月

レガッタ・バルコラーナ (10月11日): 歴史あるヨットレースの祭典であり、世界で最も人気のあるレガッタレースです。

12月

フリウリ・ヴェネツィア・ジュリアのクリスマスマジックは、クリスマスマーケットやプレセーペ、イルミネーションなど、海岸沿いからアルプス山脈とドロミテ山脈まで、街や村をクリスマス色に彩ります。

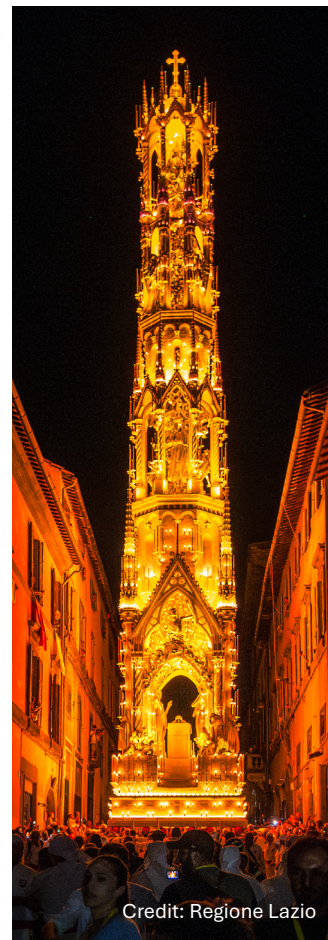


Website www.turismo.fvg.it

E-mail press@promoturismo.fvg.it

ラツィオ州

ラツィオ州は、アペニン山脈の峰々から火山湖、丘陵地帯や田園地帯からティレニア海沿岸まで、多様な景観を誇ります。砂浜や岩場の海岸線、そして芸術、歴史、自然、美食に富んだ地域です。ローマは、この地域を探索する理想的な出発点です。ローマ県には数多くの名所があり、その中でもティヴォリにあるユネスコ世界遺産にも登録されているヴィッラ・アドリアーナとヴィラ・デステ、さらにチェルヴェーテリとタルクイーニアでもエトルリア文明の貴重な遺産を見ることができます。同じくユネスコに登録されているアッピア街道は、ローマと南方、そして地中海貿易を結ぶ古代の戦略的要衝です。ラツィオ州北部のトゥーシア地方には、ヴィテルボという主要都市があります。ヴィテルボには、広大な中世の歴史地区、数多くの教会、そして教皇宮殿をはじめとする数々のモニュメントが点在しています。サビーネ山地とレアティーニ山地の斜面に位置するサビーナはアッシジの聖フランシスコが生活し瞑想にふけた場所として知られ、この丘陵地帯は、極上のエキストラバージンオリーブオイル、上質なワイン、そして豚の頬肉を使ったアマトリチャーナが有名です。南へ向かうと、チョチャリア地方があります。この田園地帯の名前は、かつて羊飼いが履いていた革製の履物に由来しています。この地域は、そのルーツに根ざした本物の環境に浸りたい人にとって理想的な、情緒あふれる自然景観を提供しています。海岸沿いには、100キロメートルに及ぶ海岸線を持つウリッセ海岸地域公園と、ポンツィーネ諸島があり、様々なアウトドアアクティビティを楽しむことができます。ここでは、砂浜と岩場のビーチが、そびえ立つ断崖やロマンチックな海食洞と交互に現れ、この海岸線を特に魅力的なものにしています。



Credit: Regione Lazio

観光プロフィール

ラツィオ州におけるこれからの観光は、提供するサービスの多様化にかかっています。歴史的・芸術的遺産に加え、ラツィオ州は新たなトレンドに沿った体験を推進しています。例えば、歴史ある村々を巡るゆったりとした旅、地元の味覚を堪能する食とワインのツアー、フランチジェナ街道や聖ベネディクトの道といった聖地巡礼の旅、そしてスパで過ごすウェルネスの旅などです。これは単なる観光ではなく、この地域をゆっくりと、ありのままに、そして敬意をもって体験していただくための招待状です。観光とは、単なるおもてなしではなく、人と人との繋がりを築くことです。そのため、ラツィオ州では地域社会を観光開発の重要な担い手として積極的に巻き込んでいくことを目指しています。地域社会の参加は、地域本来の魅力を保証し、伝統を守り、単に滞在の場を提供するだけでなく、その土地のリアルな暮らしや文化を体感してもらえるようなサービスを提供することにつながります。観光地と地元企業とのネットワーク構築は、スポーツを愛するアクティブな層からシニア層まで、多様なニーズに応える統合的な旅行プランや体験型パッケージを作成する上で極めて重要となるでしょう。目標は単に成長することではなく、責任ある成長を実現することです。ラツィオ州の観光振興は、環境、経済、社会の持続可能性という原則に基づいています。さらに、地域のアイデンティティを維持し、環境負荷を軽減し、オーバーツーリズムやジェントリフィケーションといった現象に対処することを目指しています。これらの戦略は、観光が地域全体の幸福の原動力となるよう、質の向上と地域保護に重点を置いています。



Credit: Regione Lazio

5つの豆知識

カステッリ・ロマーニ：優雅な建物と美味しい料理が豊富な丘陵地帯です。
リヴィエラ・ドゥリッセ：チルチェオからミントウルノ まで続く海岸線のことで、叙事詩『オデュッセイア』の神話にちなんで、この名前が付けられています。
ボルセーナ：泳ぐこともできる大きな火山湖で、2つの島と7つの教会があります。
フィウッジ：1900年代初頭から温泉で知られる静寂のオアシスです。
グレッチョの聖地：聖フランシスコが最初のキリスト降誕シーンを再現した場所と言われています。



今後のイベント

聖ヨセフの火祭り：ゼッポレや伝統的なソーセージと共に火にまつわる伝統行事が再現されます。| 3月19日 | イトリ

インフィオラータ：イタリアの伝統遺産である聖体のインフィオラータが開催されます。| 6月 | ジェンツァーノ

フェスタ・デル・ソーレ：川を舞台に、バルケ・フィウマローラ (川船) とティノツツァ杯をめぐるレースが行われます。| 7月 | リエーティ

マッキナ・ディ・サンタ・ローザ：100人以上の 担ぎ手たちが聖人を肩に担いで街中を練り歩きます。| 9月3日 | ヴィテルボ

ジョルニ・デッロ・スキアッフォ：ローマ教皇ボニファティウス8世への歴史的な侮辱行為が再現されます。| 9月 | アナーニ

Websites www.regione.lazio.it
www.visitlazio.com

E-mail visitlazio@regione.lazio.it

リグーリア州

海と山に挟まれたリグーリア州は、細長い地形ながらも驚くほど豊かな魅力あふれた地域です。色鮮やかな村々、優雅な港町、芸術の街、そして青い海を望む遊歩道が、数分の距離の中に共存しています。散策したり、美味しいものを堪能したり、歴史ある店を訪れたり、キロメートルごとに表情を変える海岸線沿いの村々で異なる方言に耳を傾けながら、新たな魅力を発見していくことができます。

チンクエ・テッレからドルチェアクア、ジェノヴァからリヴィエラまで、どの場所も地中海の歴史と深く結びついています。貴族の館、バジルの香りが漂う「カルツジ」（路地）、人々の創意工夫によって築かれた段々畑のブドウ畑など、その魅力は尽きません。静かな入り江を見下ろすブティックホテルや内陸にある小さなお宿

の自然体で控えめなおもてなし、そして古くからの文化を物語る食とワインの伝統が訪れる人を迎えます。海辺、文化、スポーツ、グルメなど、多様な風景と雰囲気が織りなすモザイクのような地域。コンパクトでありながらも多面的な魅力を持つリグーリア州は、質の高さ、個性、そして自然の美しさを求める旅行者にとって理想的な場所です。



Credit: @Agenzia in Liguria

観光プロフィール

日本人旅行者は、リグーリアの自然と人間の営みが完璧に調和する風景を楽しめます。海に面した村々やユネスコ世界遺産、歴史ある庭園、風光明媚な遊歩道、そして伝統工芸が、文化遺産と景観を大切に守り続けるこの地域の姿を物語っています。

リグーリアは、イタリアをゆっくりと感じたい方、本物の体験、質の高いおもてなし、そして文化、自然、食とワインを組み合わせたい方にとってまさに理想の地です。チンクエ・テッレ、パラッツィ・デイ・ロツリ、歴史ある庭園、そして小さな村々の魅力は、美意識、季節感、そして地元の伝統を大切にする旅行者から特に人気があります。



Credit: @Agenzia in Liguria

5つの豆知識

4万ヘクタールを超える段々畑とそれを支える乾式石積みの石垣が、千年以上にわたりこの地の景観を形作っています。

この州には、「イタリアの最も美しい村」に選ばれた19の村があります。

リグーリア州には、3つのユネスコ世界遺産があります。

特の微気候のおかげで、ここでしか見られない植物が集まる植物園が有名です。

イタリアで最も多くのブルーフラッグ認定を取得している州です。



今後のイベント

ロツリ・デイズ (開催日未定 - ユネスコ世界遺産「パラッツィ・デイ・ロツリ」の特別公開

国際ボートショー (2026年10月1日から6日) - 地中海を代表するマリニイベント

サンレモ音楽祭 (2027年2月16日から20日) - イタリアで最も有名な歌謡祭

リグーリア農産食品見本市 (2027年3月12日から14日) - リグーリア州の優れた食の祭典

シャッケ・トレイル (2027年3月19日から21日) - チンクエ・テッレのぶどう畑を駆け抜けるトレイルランニングイベント



Website <https://lamialiguria.it/en> E-mail info@agenziainliguria.it

マルケ州

イタリア中部に位置するマルケ州は、アペニン山脈のなだらかな丘陵と山々がアドリア海まで連なり、魅力と伝統に満ち溢れる調和のとれた多様な景観が広がっています。内陸部には、中世の村や芸術の街、お城、修道院、そして隠者の住みかなどが点在し、何世紀にもわたる歴史と伝統を今に伝えています。この地域は国立公園や州立公園、自然保護区、原生林に恵まれ、散策やハイキング、アウトドアに最適です。フラサッシの洞窟、連なる丘が広がる風景、山岳リゾートは、四季折々に感動的な体験ができる場所として知られています。都市や村には、博物館、長い歴史を持つ劇場、記念碑、遺跡など、重要な文化遺産が数多く存在しています。

中でも、ラファエロ・サンツィオの生誕地であり、ユネスコ世界遺産にも登録されているウルビーノは必見です。マルケ州は、本格的で質の高い郷土料理に加え、ファブリアーノの紙やカステルフィダルドのアコーディオンといった伝統工芸品でも知られています。お祭り、文化イベント、歴史再現劇などが数多く開催されるこの州は、混雑した街並みから離れ、歴史、自然、伝統が調和して共存する、イタリアの本当の姿を求めるのに最適な場所です。



Credit: Regione Marche

観光プロフィール

マルケ州は、文化、自然、そして地域に伝わる伝統に興味のあるツーリストにとって、本物の魅力に触れる質の高い観光に最適な場所です。主なターゲット層は、穏やかな空間と調和のとれた景観、そしてイタリアの有名な観光地よりも混雑していない芸術の街を探しているカップルや家族連れ、そして個人旅行者です。この州は、長い歴史を持つ村々を巡り、文化に触れ、豊かな自然を堪能し、郷土料理を楽しみたい人々に高い人気があります。

また、世界的に重要なカトリック巡礼地であるロレートは、多くの巡礼者や観光客が祈りを捧げるために訪れる、宗教観光の中心地となっています。マルケ州には温泉や美しい村々が数多く点在し、ウェルネスやリラクゼーションを求めるシニア層の旅行先としても人気があります。伝統、工芸、そして地域の暮らしを通して、真のイタリアを体感したい団体旅行や体験型旅行者にとっても理想的な場所となっています。



Credit: Regione Marche

5つの豆知識



マルケ州：イタリアで唯一複数形の名前を持つ州。複数の古い辺境領が存在した歴史的背景が、その名前の由来となっています

ユネスコ世界遺産の街、ウルビーノ：ラファエロの生誕地であり、イタリアルネサンスの象徴的都市として知られています



オリーヴェ・アスコラーネ：マルケ州を代表する郷土料理です



フラサッシ洞窟：ヨーロッパで最も壮観なカルスト洞窟のひとつです

ロレート：サントゥアリオ・デッラ・サンタ・カーザのある重要な巡礼地です



今後のイベント

マルケ州では、国際的に高い注目を集める重要な夏のイベントが開催されます。特に、歴史的なスフェリステリオ（競技場）で開催されるマチェラータ・オペラ・フェスティバル、イタリアの偉大なオペラの伝統に捧げられたロッシーニ・オペラ・フェスティバル、壮大な歴史パレードで知られるアスコリ・ピチェーノのクインターナ、フェルモで行われるカヴァルカータ・デッラッスンタなどが有名です。さらに、海沿いや内陸にある村や町に賑わいをもたらす食とワインのフェスティバル、コンサート、カルチャーイベント、歴史再現イベントなども開催され、マルケ州に息づく本物の文化と伝統を体験することができます。

Website www.letsmarche.it E-mail numeroverde.turismo@regione.marche.it

モリーゼ州



Credit: Regione Molise

モリーゼは、アペニン山脈とアドリア海に挟まれた、神秘的な美しさを湛えた、まさに宝箱のような土地です。雄大な山々、緑豊かな内陸の丘陵地帯、そして透き通った海に面した海岸線が、この地域を彩ります。モリーゼの真髄は、岩山の上に佇む古い村々にあります。そこでは、まるで時間が止まったかのように、伝統工芸や食文化が世代から世代へと受け継がれています。マイナルデ山脈やマテーゼ山脈の峰々から、テルモリの黄金のビーチまで、この地の景観は、一步一步、探検へと誘います。一方で、モリーゼは野外博物館でもあります。中世の趣ある城、広大なイタリア・ローマ時代の遺跡、そして今もなお一部でその痕跡を残す千年の歴史を持つ移牧ルート「トラットゥーリ」など、その歴史は今も息づいています。人々の温かさ、自然の静寂、そして極上の味わいを誇る郷土料理の数々が織りなす、意外な魅力に満ちた州です。

観光プロフィール

モリーゼ州は、意識の高い旅行者、本物志向の旅行者、そして観光客の喧騒から逃れたい旅行者をターゲットとしています。理想的な旅行者は、自然や歴史的なルート、例えば山道でのトレッキングや自然公園の遊歩道などを巡る「スロートーリスト」（ハイキング、ウォーキング、サイクリングを楽しむ人）です。また、中世の村や遺跡を巡る文化的な旅を求める旅行者にも最適な目的地です。そして最後に、モリーゼ州は食とワインの体験を求める「グルメ旅行者」にもぴったりの場所です。



Credit: Regione Molise

5つの豆知識

ピエトラッボンダンテ：歴史上初めて人間工学に基づいた座席を備えたヘレニズム・イタリア時代の劇場があります。

アニョーネ：ヨーロッパ最古の鐘工場のひとつであるマリネッリ教皇庁御用達鑄造所があります。

ティンティリア：絶滅の危機から救われたこの地域固有のブドウ品種であり、地元のワイン造りの誇りとなっています。

スカーポリ：ザンポーニャの世界的な中心地であり、国際フェスティバルも開催されます。

イゼルニア・ラ・ピネータ：70万年前の遺物が発見された、ヨーロッパで最も重要な旧石器時代の遺跡のひとつがあります。



今後のイベント



国際レース編みフェスティバル
(イゼルニア、2026年7月18日から19日)



小麦の収穫祭
(イエルシ、2026年7月26日)

Website <https://www.visitmolise.eu>

プーリア州

伝統と現代が融合するプーリアは、芸術、自然、建築、そして優れた食文化が織りなすモザイクアートで、文化と体験を楽しむのには理想的な観光地です。ユネスコ世界遺産に登録されているトウルッリからプーリア伝統のマッセリアまで、さまざまな景観と過去から続く伝統、そして力強いアイデンティティが、訪れる人に忘れられない発見をもたらします。

燃えるような夕日、果てしなく広がるパノラマ、きらめく色彩、そしてゆったりと流れる時間。アドリア海とイオニア海に面した850キロメートルを超える海岸線を誇るプーリアでは、すべての旅行者にとって外せないエリアです。透き通る海と砂浜の入り江、海を見下ろす断崖、ぶどう畑が広がる田園、広大なオリーブ畑、5つのユネ

スコ世界遺産、歴史ある村々、中世の城、ドルメンやメンヒル、洞窟、博物館、そして遺跡など見どころは尽きません。

そして、レジーナ湖とヴァラーノ湖、マルゲリータ・ディ・サヴォイアの塩田、ウンブラの森、そしてロディ・ガルガーニコ、ペスキチ、ヴィエステの海岸に今も残る漁小屋「トラブッキ」へとあなたの旅は続きます。バルレッタ、トラーニ、ビシェリエからテッラ・ディ・バーリ、そしてプリンディジ、ターラント、レッツェ、サレントまでさらに南下していくと、城、大聖堂、古い見張り塔、歴史ある灯台が点在する景観が広がります。

プーリア州では一年を通して、国内外から注目を集めるさまざまなイベントが開催され、優れた食

文化が華を添えています。「キロメートル・ゼロ」という地産地消コンセプトの先駆者であるプーリアのお料理は、新鮮で素朴な味わい、色鮮やかで味わいに満ちあふれています。



Credit: Regione Puglia

観光プロフィール

2025年には約2,300万人の観光客が訪れたプーリアは地中海有数の人気観光地です。海、歴史ある村々、文化遺産、イベント、食とワイン、そして豊かな自然が詰まったこの地域には多様な観光ニーズに応える底力を秘めています。主な観光客層は、カップル、ファミリー、個人旅行者となっており、近年はノマドワーカーや海外からの観光客も増加傾向にあります。主なターゲット市場は、イタリア、フランス、ドイツ、アメリカ、ポーランド、イギリス、スイス、オランダ、ベルギー、スペインです。ターゲットとなる観光客は、マッセリアと呼ばれる農家での滞在や文化を巡る旅、アウトドア体験、サイクリング、トレッキング、食とワイン体験、ビーチリゾート滞在など、本物志向で持続可能性に配慮した質の高い体験を求めています。提供するコンテンツの多様化とシーズンオフの観光誘致が進んだことで、平均滞在日数は増加しています。プーリアは、レジャー観光やMICE需要、さらにはニッチな体験を提供するツーリズムまで、さまざまな滞在に適した体験型観光地として位置づけられ、地域固有のアイデンティティ、伝統、そして温かなホスピタリティを積極的に推進しています。



Credit: Paolo Petrignani

5つの豆知識



850キロメートルに広がる海岸線
5つのユネスコ世界遺産
57の保護地域と2つの国立公園
34万本の樹齢百年を超えるオリーブ
25種の在来ブドウ品種

今後のイベント

レッドブル・クリフダイビング・ワールドシリーズ - 世界で最も壮観な
クリフダイビング選手権 | 2026年9月25日から27日 | ポリニャー
ノ・ア・マーレ

PhEST - 国際写真・アートフェスティバル | 2026年8月7日から
11月1日 | モノポリ

ラ・ディスフィーダ・ディ・バルレッタ - 1503年のバルレッタの
戦いの歴史的再現イベント | 2026年9月13日から15日 | バ
ルレッタ

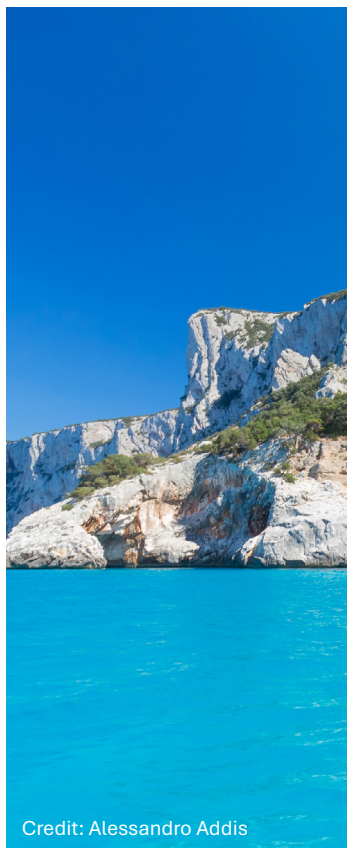
イ・ディアロギ・ディ・トラーニ - 第25回文学フェスティバル
| 2026年9月11日から26日と2026年10月8日 | トラーニ

フカコストとコッチェ・プリアルトリエ - 火祭り
| 2026年11月1日から2日 | オルサーラ・ディ・
プーリア



Website <https://www.viaggiareinpuglia.it> E-mail ufficiostampa@aret.regione.puglia.it
redazione@viaggiareinpuglia.it

サルデーニャ州



Credit: Alessandro Addis

手つかずの自然、先祖代々受け継がれる伝統、そして誇り高きアイデンティティ - それが訪れるすべての人を温かく迎え入れ、新たな発見へと誘い、深い絆を育むのがサルデーニャです。

海岸線には、きめ細かく光輝く砂浜と岩に囲まれた美しい入り江が点在しています。その中でも、ひときわ目を引くのが、旅行者が選ぶ「2025年世界で最も美しいビーチ」にも演出されたカーラ・ゴロリツェという入り江です。海岸だけではなく、その内陸部にもたくさんの魅力が詰まっています。 険しく荒々しい自然が残る風景は、驚きと感動をもたらします。

この島の数千年にわたる記憶は、豊かな考古学的遺産によって、今もなお守られています。

古代の貴重な遺産の中でも特に有名なのが、ヌラーゲと呼ばれる堂々とした石造りの塔と、岩をくり抜いて作られた先史時代の墓所であるドムス・デ・ヤナス（「妖精の家」）です。このドムス・デ・ヤナスは近年、ユネスコ世界遺産に登録されました。

サルデーニャには数多くの海洋保護区や公園が点在しており、持続可能性と環境の保全への絶え間ない取り組みを見ることができます。地域社会と自然の調和は、「発見と愛すべき土地」を守り、未来へと受け継いでいくための大切な価値観となっています。

食とワインの伝統を堪能することは、ぜひ体験していただきたい魅力のひとつです。島の文化を忠実に反映した食とワインは、素朴でありながら豊かな味わいが魅力です。山の幸と海の幸をふんだんに使ったお料理は、コクのあるカンノナウからフルーティーなヴェルメンティーノまで、上質なブドウ品種を使ったワインがその魅力をいっそう引き立てます。そのすべてを包み込むのが、誠実かつ温かく迎えるおもてなしの文化です。訪れる人はやがて友人となり、忘れがたい時間とサルデーニャへの深い愛を分かち合うことになるのです。

観光プロフィール

文化への関心が高く、中高レベルの価格帯で旅を楽しみたい一人旅、カップル、家族連れ、グループ旅行におすすめです。サルデーニャは、海を愛し、そこでしか得ることのできない体験を求め、豊かな自然と文化遺産の魅力に関心を持つ観光客を惹きつけています。約2,000キロメートルに及ぶ海岸線には夢のような砂浜が数多く点在し、その魅力はビーチだけにとどまりません。公園や海洋保護区、そして手つかずの自然が残るエリアでは、一年を通してさまざまなアウトドアアクティビティを楽しむことができます。美しい海と景観、数千年にわたる歴史と今もなお過去を語る歴史遺産、数多くの村々や熟練職人たちの仕事、郷土料理にも見て取れる素朴で奥深い文化が残るこの島は、あらゆる旅行者にとって、まさに理想の旅行先となっています。



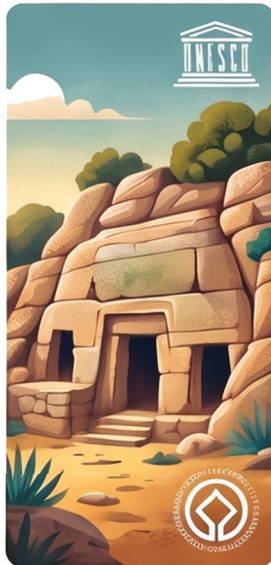
Credit: Alessandro Addis

5つの豆知識



高い人気を誇る海：サルデーニャ島のビーチは毎年、旅行者による人気のビーチランキングの上位を占めており、2025年には、カーラ・ゴロリツェが「世界で最も美しいビーチ」に選ばれました

アクティブなバカンス：公園や保護区では、一年を通してアウトドアをお楽しみいただけます



今なお息づく数千年の遺産：サルデーニャは、ヌラーゲ文化やそれ以降の貴重で謎めいた遺跡が数多く残るまさに野外博物館です。その中でも、ユネスコ世界遺産に登録された先史時代の墓所ドムス・デ・ヤナスは必見です

高い評価：さまざまな都市や国とともに、サルデーニャは、ヨーロッパで唯一、「ロンリープラネット ベスト・イン・トラベル2026ガイドブック」に州として掲載されたことから、その魅力が改めて証明されています



スロートラベル：「サルデーニャを歩こう」と「サルデーニャの個性豊かな村々」は、自分の足でこの島の魅力を探求しようというスロートラベルを促進する取り組みです

今後のイベント



四季折々に開催されるイベントが、活気に満ちた島の鼓動を刻みます。カーニバルなら、五感を刺激する旅をお楽しみいただけます。熱狂的なオリスターノのサルティリアや、ボサとテンピオ・パウサニアの社会風刺の効いたパレードなど、歴史的な仮面や勇壮な馬上競技に彩られた古代の異教儀式が、神秘的な雰囲気を出します。聖週間には、数千年の歴史に根ざした伝統を受け継ぐ宗教行事がサルデーニャ州各地で行われ、信仰と神秘に満ちた厳かな雰囲気に包まれます。5月から夏にかけて、各地ではその地域伝統のお祭りが次々と開催されます。カリアリの盛大なサンテフィジオ祭からサッサリの厳粛なカヴァルカータ・サルダ、セディロのスリリングなサルディア、サッサリの誇り高くリズミカルなカンデリエリの行列、ヌオロの絵のように美しいサグラ・デル・レデントーレ、カブラスの情感あふれるコルサ・デッリ・スカルツィまで、さまざまな祭事が島を彩ります。春と秋の週末には、芸術と歴史的遺産を心ゆくまで堪能できるモヌメンティ・アベルティが開催されます。9月から12月にかけては、村々の工房や伝統家屋が解放されたり、6月にカルロフォルテで開催されるジロトノのように郷土の味を楽しめたりするパレバジアの秋祭りが有名です。夏は文化イベントの季節でもあり、ガヴォイのL'Isola delle Storieをはじめ、Time in Jazzのコンサート、そしてタヴォラーラで開催されるUna Notte in Italiaの映画祭を楽しめます。





REGIONE SICILIANA



シチリア州

地中海のど真ん中、一年中太陽が降り注ぎ、遺跡、海、自然、美食、受け継がれてきた伝統に囲まれたこの島で、どんなバカンスを夢見ていますか？シチリアは、期待をはるかに超える魅力であなたをお待ちしています！ユネスコ世界遺産に登録された7つの遺跡、ヨーロッパ映画や文学の舞台となった街、イタリアでも特に美しい中世の村々、4つの自然公園と7つの海洋保護区、そして歴史と文化、南イタリアらしいおもてなしが息づく都市が、皆様をお迎えします。

キーワードは？食とメイド・イン・イタリアー！まさに五感で味わうシチリア。独特の景観と「カレット」と呼ばれる伝統的なシチリア荷車や芸術的なマヨリカ焼きなどの色鮮やかな工芸品が織りなす風景が目を楽しませ、グルメレストラン、屋台、ワイナリーの試飲ツアーなど、地元的美食とワインの香りや風味が訪れる人を魅了します。

今もなおゆったりとした時間が流れ、充実したスパや温泉施設を通じて心身を癒やし、自分自身をいたわるひとときを過ごすことができるのはシチリアです。また、大規模なイベントと地域探訪を組み合わせた、豊かな文化体験もその魅力のひとつであり、特に古代劇場、そしてユネスコ無形文化遺産にも登録されているシチリアの操り人形劇など永遠の魅力を放つ伝統やフォークロアは圧巻です。



Credit: @Archivio Regione Siciliana_JM

観光プロフィール

シチリアは、世界で最も愛されるブレッジャー旅行目的地のひとつです。仕事で滞在する場所や時期を問わず、この州はあらゆる業界のプロの皆様に、ビジネス旅行を純粋な喜びの体験へと変える最高の機会を提供します。

また、この島は、何世代にもわたって移住していった人々が、自らのルーツや決して忘れることのなかったアイデンティティを再発見するために訪れる「帰郷の地」でもあります。このようなルーツをたどる旅は、世代を超えた交流を生み、多くの感動をもたらしています。

さらに、地中海の映画の野外ロケ地を巡るフィルムツーリズム好きや文学ツーリズムやスローライフを楽しみたいニッチな層の皆様には、地域社会やそこに残る伝統に直接触れることで、時代を超えた体験をお楽しみいただけます。「ペット同伴可能」でバリアフリー対応の休暇プランも、年間を通してご用意しています。



Credit: @Archivio Regione Siciliana_JM

5つの豆知識

ストリートフード：パレルモの伝統的な市場で、屋台や魚屋、キオスクなどが並びます

シチリアの旗：世界で4番目に古い旗で、トリナクリアが描かれています

シラクーサのギリシャ劇場：世界最大級かつ最も保存状態の良い劇場のひとつです

ムーア人の頭像：精巧な工芸品です

ジェラートとグラニータ：世界中で愛されている、シチリア生まれのデザートです



今後のイベント

シチリアの主要イベントシーズンは、音楽から演劇まで、もちろん冬の間も降誕劇や歴史あるカーニバルなど、多彩なプログラムが用意されています。今後開催される主なイベントはこちらです。

ベッリーニ国際祭 - ベッリーニ記念祭 (9月から11月)
コッパ デッリ アッシ (9月から10月)
クスクスフェスティバル (9月)
レ・ヴィエ・ディ・テゾーリ (9月から11月)
モンレアーレ宗教音楽週間 (10月)
オットブラータ・ディ・ザッフェラーナ・エトネーア (10月)
カターニアのマランツァーノ・ワールド・フェスト (10月)
シャーベス - パレルモジェラートフェスティバル (10月)
シラクーサ聖ルチア祭 (12月13日)
チョコモディカ - モディカチョコレートフェスティバル (10月30日から11月1日諸聖者の日)



Website <https://www.visitsicily.info> E-mail servizio1.turismo@regione.sicilia.it

トスカーナ州

トスカーナ：終わりにきルネサンス

トスカーナは単なる地域ではなく、五感と文化を通じてさまざまな体験を楽しめる場所です。人と自然が幾世紀にもわたって織りなしてきた営みが、他に類を見ない景観を生み出してきました。

エトルリア文明にまでさかのぼる歴史を持ち、数千年にわたるイタリア文化の中心地であるトスカーナは、ルネサンス発祥の地です。ブルネレスキ、ミケランジェロ、ボッティチェリといった芸術家たちが不朽の名作を生み出し、ダンテ・アリギエーリが現代イタリア語の基礎を築きました。こうした独創性と創造性の融合は、フィレンツェ、シエナ、ピサ、ルッカといった芸術都市だけでなく、魅力的な村々や数え切れないほどの「メイド・イン・トスカーナ」製品にも色濃く表れています。

トスカーナは、まさに卓越性の宝庫です。イタリア最大の森林面積を誇り、600kmを超える海岸線、17のユネスコ遺産を有し、イタリアを代表する食とワインの産地としても知られています。近年、イタリア料理がユネスコ無形文化遺産に登録されたことで、その価値はさらに高まりました。また、トスカーナはホスピタリティ産業（イタリア最多の5つ星ホテルと、最も幅広いアグリツーリズム施設を擁する）とアクティブツーリズムにおいても、イタリアをリードする存在です。15,000kmにも及ぶサイクリ

ングコースと、持続可能性と環境への配慮を重視した、地域の真髄を垣間見ることができる10のウォーキングコースが整備されています。プッチーニ音楽祭、フィレンツェ五月音楽祭、リヴォルノのマスカーニ音楽祭など、数々の音楽祭が開催され、素晴らしい音楽の伝統と共にトスカーナの魅力をさらに高めています。



Credit: Alice Russolo

観光プロフィール

トスカーナ州は、持続可能な観光、食とワインを楽しむ観光、ユネスコ世界遺産を巡る観光、ファミリーツーリズムに力を入れており、「トスカーナ地方の分散型観光」、つまり海外の団体旅行客がまだ十分に訪れていない地域のプロモーションにも積極的に取り組んでいます。

イタリアを訪れる日本人観光客はこの2年間で回復傾向にあり、宿泊施設を利用する日本人は60万人、延べ宿泊数は150万泊に達し、新型コロナウイルスが流行する前の高水準まで徐々に回復しています。これらの観光客の流れは主要な芸術都市に集中しており、トスカーナ州はイタリア国内で4位（イタリア全体の延べ宿泊数の13.1%）を占め、日本はトスカーナ州にとって24番目に大きな海外市場となっています。

トスカーナ州では、アート／ビジネス目的の旅行者が、ターゲット全体の大部分（90.6%）を占めています。歴史的な円安ユーロ高にもかかわらず、日本人旅行者は依然として非常に高い付加価値をもたらしています。イタリアにおける一人当たりの支出額は247ユーロ（平均比82%増）で、トスカーナ地方では251.3ユーロ（同66%増）に達し、文化、ファッション、結婚式、そして食とワインがその原動力となっています。



Credit: ©Nicola Neri

5つの豆知識

ヴィアレージョのカーニバル - 2月から3月にかけて開催されます

フィレンツェの古式サッカー - 6月に開催されます

シエナのパリオ - 毎年7月2日と8月16日に開催されており、1633年から現在まで、途切れたことがありません

アレツォ サラチーノの馬上槍試合 - 6月の最後から2番目土曜日と9月最初の日曜日にアレツォで開催されます

ルッカ コミックス&ゲームズ - 10月から11月にかけて開催されます



今後のイベント

ルッカ コミックス&ゲームズ - ヨーロッパ最大級の漫画・ゲーム・アニメの祭典です。10月下旬から11月上旬にかけての1週間、歴史的地区ではコミック、アニメ、ボードゲーム、ロールプレイングゲームなどをテーマにしたイベントが開催され、幻想的な世界観が広がります



ヴィアレージョのカーニバル - 2月から3月にかけての1か月間、毎週日曜日には、大衆文化を風刺した張り子細工の作品がパレードを行います。スターや著名人など、さまざまな人物を題材にした巨大な山車が主役となります

Websites www.toscanapromozione.it
www.visittuscany.com

E-mail internazionale@toscanapromozione.it

ウンブリア州

ウンブリア州は、バカンスに理想的な地域です。自然や公園、芸術と文化に彩られた都市、アウトドアスポーツ、さらに国際色豊かなイベントや美食とワインが、最高のひとときを演出します。ウンブリアは、数え切れないほどの表情と様々な感動がひとつのフレスコ画のように調和する大地です。そこには、人と自然、深い信仰心、そして市民としての誇りが息づいています。どの場所にも、他にはない固有の個性があります。それは、ウンブリア人、エトルリア人、サビニ人、ローマ人から始まり、中世やルネサンスの輝かしい時代に至るまで、幾千年にもわたる文明の歩みが作り出した結晶であり、幾重にも積み重なった記憶と、時代を超えて輝き続ける傑作の数々が、その歴史を物語っています。

この地を開墾し、オリーブの木を植え、ブドウ畑を育てることで、長い時間をかけてこの環境を作り上げてきた農民たちの知恵と工夫は、極上のワインやオリーブオイルを生み出しただけでなく、今ではこの土地そのものの象徴となっています。



Credit: @PPMETELLI

観光プロフィール



Credit: @PPMETELLI

中世の村々と静寂に包まれた庵が点在するウンブリアの丘陵地帯は、魅惑的な背景を織りなしています。ウンブリアでは、ほんの数キロ移動するだけで、樹齢数百年というブナの森や深い洞窟、そして古代の伝説に彩られた山々など、手つかずの自然が広がります。

ウンブリアは水にも非常に恵まれた土地です。水は泉や山岳湖となって地表に姿を現し、川となって壮大な岩の峡谷を刻み、湿地や人工の貯水池へと広がり、まるで魔法のように自然のオアシスへと姿を変えます。トラジメーノ湖、ゆったりと流れるテヴェレ川、そして豪快なマルモレの滝は、詩人や画家を魅了するために用意された舞台のように荘厳です。旅が終わるころには、このウンブリアが美の宿命を背負った土地であることを確信するはずです。

5つの豆知識

芸術と文化

ウンブリアを訪れて、悠久の時を刻む豊かな土地を体験してみませんか。古代から中世、そしてルネサンス期にかけて、この地は歴史の表舞台で脈動する中心でした。都市は目覚ましい発展を遂げ、遺跡や教会、城、宮殿など、数多くの芸術的遺産を積み重ねてきました。ウンブリアには、150を超える美術館を含む250以上の「文化の拠点」があり、いつまでも皆さんの心に残ることでしょう。

歴史ある街並みは今も、美を求める観光客や旅行者を惹きつけています。

自然、公園、スポーツ

自然保護区では、暮らしとスポーツをお楽しみいただけます。「イタリアの緑のハート」と呼ばれるウンブリア州は、自然と歴史が見事に調和した地域です。ここでは、息を呑むような絶景を堪能しながら、さまざまなアウトドアスポーツを体験することができます。8つの自然公園では、その圧倒的な自然の価値とともに、そこに残る多くの文化遺産にも触れてみてください。



美食とワイン

食卓に広がる味わいをご堪能ください。ウンブリアへの旅は、食卓を訪れずして語ることはできません。美食とワインは、森やフレスコ画、城と同じように、この地方の魅力を生み出す大切な要素です。それぞれの都市や村には独自の郷土料理があり、その土地のアイデンティティと深く結びついています。ペルーージャ、アッシジ、テルニ、ノルチャ、トラジメーノ、そしてウンブリア全体が、豊かな風味と情熱にあふれた美食の宝箱として、美食家たちを魅了します。

伝統工芸

ウンブリアでは、名産品から工房で生み出される逸品までが、人々の暮らしのあらゆる場面に入り込んでおり、芸術と工芸が何世紀もの交流を通して磨き上げられてきました。こうして、この地方の工芸は、日々の暮らしに必要な道具から高い美的価値を持つ逸品へと発展し、その技と精神は、伝統の継承やたゆまぬ研究、製法・道具の復元によって今日まで受け継がれているのです。

神秘のウンブリア

絶えることなく巡礼者が訪れるウンブリアには、深い宗教精神が満ちあふれています。

数々の偉大な聖人を輩出した地であるこのウンブリアは、イタリアの守護聖人であるアッシジの聖フランチェスコ、ヨーロッパの守護聖人であるノルチャの聖ベネディクト、そして恋人たちの守護聖人である聖バレンタインの生誕地として世界的に知られています。また、クララ会創立者であるアッシジの聖キアラや、「不可能の聖女」として知られるカッシアの聖リタも、この地ゆかりの聖女です。



Website www.umbriatourism.it

ヴァッレ・ダオスタ自治州



Credit: Marco Gabbin

イタリアアルプスの中心部、フランスとスイスに国境を接するこのヴァッレ・ダオスタ自治州は、自然、歴史、そして伝統が詰まっている地域です。イタリアで最も小さな州でありながら、ヨーロッパ屈指の壮大なアルプスの景色が広がっており、モンブラン、マッターホルン、モンテ・ローザ、グラン・パラディーゾという4つの伝説的な名峰がそびえ立っています。氷河、高山湖、森林、そしてその山間に点在する村々が織りなす景観は、四季折々の魅力に満ちています。豊かな自然に加え、このヴァッレ・ダオスタには貴重な歴史遺産も数多く残されています。

古代ローマ人によって建設され、「アルプスのローマ」と称されるアオスタには、街並みに溶け込む数々の歴史的建造物が残っており、100を超える城や要塞が、この地域の中世の歴史を今に伝えています。何世紀にもわたり受け継がれてきた伝統や工芸、民俗行事、そして本格的な郷土料理やフォンティーナDOP、ラルド・ディ・アルナードDOP、ジャンボン・デ・ボッセDOP、さまざまな山のワインが、この地域ならではの魅力と温かいおもてなし、そして忘れられない絶景とともに、特別な旅の体験を演出します。

観光プロフィール

ヴァッレ・ダオスタは、本物志向で質の高い体験を通してイタリアアルプスを満喫したい海外からの旅行者にとって理想的な目的地です。山好きや写真愛好家、そして雄大な景色を楽しみたい人はもちろん、スキーやハイキング、登山を目的とする旅行者にもおすすめです。

さらに、自然、歴史遺産、ウェルネス、そして食とワインを組み合わせた旅を楽しみたいカップルやファミリー、少人数グループにもぴったりの場所です。フランスとスイスに近く、北イタリアの主要都市へのアクセスも良好なため、特別な場所でありながらも訪れやすく、一年を通して訪れることができます。



Credit: archivio regione autonoma
Valle d'Aosta

5つの豆知識

この州は「100の城の谷」として知られています

アオスタの町は、ローマ時代の遺跡が数多く残ることから「アルプスのローマ」と呼ばれています

スカイウェイ・モンテ・ビアンコロープウェイは標高3,466mまで昇り、モンブランの壮大な景色を堪能できます

マッターホルン・アルペン・クロッシングを使えば、チエルヴィニアからツェルマット(スイス) までロープウェイで移動できます

アオスタの市街地からは、ロープウェイで標高2,700mを超える地点まで行くことができます



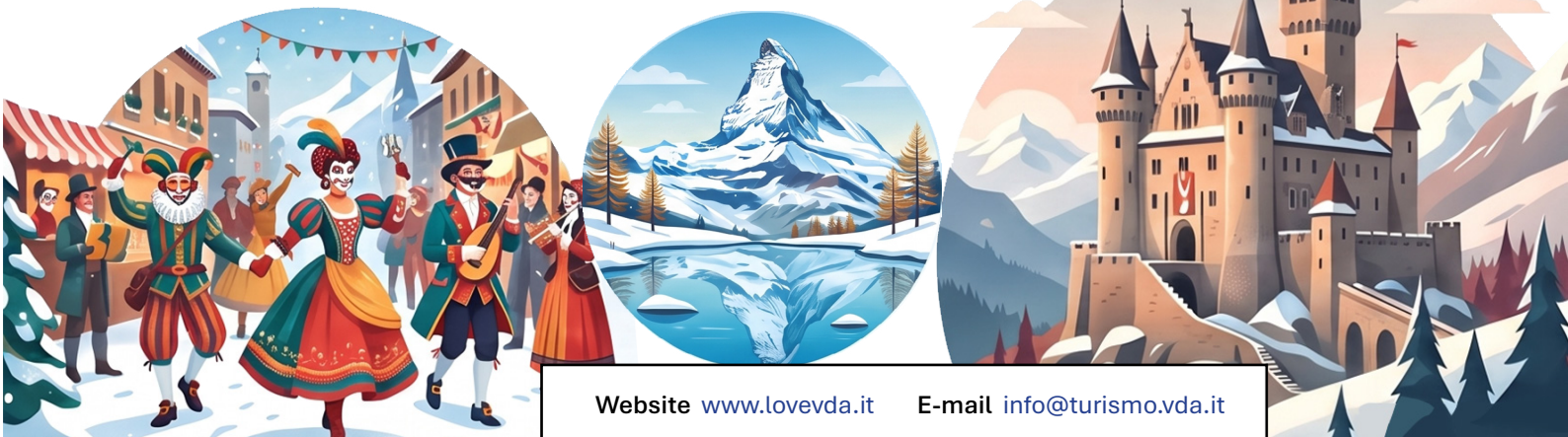
今後のイベント

「Tor des Géants®」は、世界で最も過酷な国際トレイルランニングレースの一つとして知られ、60か国以上からアスリートが集まります。

11月下旬から1月上旬にかけて、マルシェ・ヴェール・ノエル(クリスマスマーケット)が開催され、アオスタの歴史地区はクリスマスビレッジへと姿を変えます。

サントルソの伝統市(1月30日-31日)は、1000年以上の歴史を持つアルプスの伝統民芸品に特化した最も重要なイベントです。

2月から3月にかけては、歴史あるカーニバルがヴァッレ・ダオスタの村々で開催され、華やかな衣装、音楽、そして歴史再現劇で彩られます。



Website www.lovevda.it

E-mail info@turismo.vda.it

ヴェネト州

ヴェネト：すべての旅が、かけがえのない体験になる場所

ヴェネト州は、芸術、自然、文化が完璧な調和の中で共存する地域です。多様でありながら調和のとれた風景を通して、洗練されたありのままのイタリアを体感できる、ゆったりとした旅をお楽しみください。

ヴェネツィアとその潟は、まるで時間が止まったかのような、独特の美しさを放っています。この地域には、ヴェローナ、パドヴァ、ヴィチエンツァといった芸術都市があり、貴重な歴史、建築、伝統が今も息づいています。トレヴィーゾ、ベッルーノ、ロヴィーゴといった趣ある街では、静かで地元に着した、本物のイタリアを体感できます。都市部を離れると、歴史的な村々、ヴェネトラしい邸宅、丘陵地帯、ぶどう畑が広がります。ゆったりとした時間を過ごし、土地の魅力に耳を傾け、発見する心を持って、この地域を深く味わってください。

自然こそが主役です。ユネスコ世界遺

産に登録されているドロミテ山脈、ポー川のデルタ地帯、ガルダ湖、そしてプロセッコの産地であるコネリアーノとヴァルドッピアデーネの丘陵地帯は、人間と環境が見事に調和した景観を誇り、自然本来の美しさが際立っています。

アバーノやモンテグロッツの温泉、そしてエウガネイの丘陵地帯は、心身のリフレッシュに最適です。ビビオーネからカオルレ、イエーゾロ、カヴァッリーノ・トレポルティ、キオッジャ・ソットマリーナ、そしてロズリーナ、ポルト・トッレまで続くアドリア海沿岸には、150キロメートルにわたって自由に利用できるビーチや設備の整ったビーチ、松林、複数のリゾート施設が点在し、リラクゼーション、スポーツ、そして楽しみに満ちた特別な旅を楽しめます。

ヴェネト州の食を味わう旅はいかがですか。歴史あるぶどう畑、卓越した食とワインの文化、そして地域ごとの個性を映し出す伝統を巡る旅をお楽しみいただけます。ここでは、食のひとつと

きが、五感を満たす本物の体験となります。

訪れやすく、心地よく過ごせるヴェネト州が、ゆっくりと土地を感じ、発見を楽しみ、深く心に残る旅へと誘います。



Credit: @Davide Busetto

観光プロフィール

ヴェネト州は、驚くほど多彩な魅力があふれ、訪れる人々を魅了します。カップルやファミリー、そして文化、自然、スポーツ、食とワイン、ウェルネスを愛するすべての人にとって理想的なヴェネト州は、世界的に有名な芸術都市からドロミテ山脈、アドリア海のビーチからガルダ湖、歴史ある村々、なだらかに連なるワイン産地の丘陵地帯、そして息をのむような美しい自然の景観まで、ヴェネト州には誰もが楽しめる魅力があります。

質の高いホスピタリティ、さまざまな宿泊施設、そして豊かな地域文化に触れられるヴェネト州は、短期滞在にも長期休暇にも最適です。数多くのユネスコ世界遺産に彩られたこの魅力溢れる地域は、美しい景観、豊かな食文化、アウトドア体験、素晴らしい歴史的・文化的遺産に恵まれ、一年を通してあらゆる季節に適した選択肢を提供しています。



Credit: @Arcangelo Piaia

5つの豆知識

パドヴァ:世界最古の大学植物園が、創立当時のままの場所に今もなお残っています。1545年に創立されたこの植物園は、近代植物学の発祥地とされ、ヨーロッパの多くの庭園に影響を与えてきました。さらに、ユネスコ世界遺産にも登録されています。

ヴィチエンツァ:「ルネサンス建築の隠れた都」ルネサンス期で最も影響力を持った建築家アンドレア・パッラーディオの天才と切っても切り離せないのがこのヴィチエンツァです。彼が手掛けた邸宅や宮殿は、数えきれないほどの建築作品にインスピレーションを与えてきました。ヴィチエンツァを歩くことは、調和のとれた建築の生きた手引書の中を歩くようなもので、あらゆる角度から見る者を魅了するようにデザインされています。

ヴェローナには、世界で最も有名な野外オペラ劇場の一つがあります。ヴェローナのアリーナは、完璧な状態で保存されたローマ時代の円形劇場で、世界で最も感動的な舞台のひとつです。夏の間、石段には最大15,000人の観客が集まり、星空の下でオペラ公演を楽しめます。優れた自然音響によって、イタリアオペラの歴史と魔法に浸る、唯一無二の体験となります。

2つの川に「浮かぶ」ポレージネ地方。ここは、ポー川とアディジェ川に挟まれたロヴィーゴ地方です。まるで自然の「島」のような場所で、野鳥観察の楽園であり、自然の中を走る美しいサイクリングロードが整備されています。

コネリアーノとヴァルドッピアードネのプロセッコの丘陵地帯は、世界に類を見ない景観を誇ります。ぶどう栽培のために丘陵斜面に作られた段々畑「チリオーニ」が評価され、ユネスコ世界遺産に登録されています。この段々畑は、独特の起伏に富んだ景観モザイクを形成しています。



今後のイベント

ヴェネツィアのレガータ・ストリカ
2026年9月6日ヴェネツィア

<https://www.regatastoricavenezia.it/>

アリーナ・ディ・ヴェローナ・オペラフェスティバル
2026年6月12日から9月12日ヴェローナ

<https://www.arena.it/arena-opera-festival/>

ヴェネツィア・ビエンナーレ

2026年5月9日から11月22日ヴェネツィア

<https://www.labiennale.org/it/arte/2026>

ヴェネツィア国際映画祭

2026年9月2日から2026年9月12日リド島 (ヴェネツィア)

<https://www.labiennale.org/it/cinema/2026>

トカティ - 国際ストリートゲームフェスティバル

2026年9月18日から20日ヴェローナ

<https://tocati.it/>

旅人のフェスティバル

2026年9月から10月アゾロ

(トレヴィーゾ県)、その他ヴェネト州各地

<https://www.festivaldelviaggiatore.com/>

国際ジェラート展 (MIG)

2026年12月ロンガローネ (ベッルーノ県)

<https://www.mostradelgelato.com/>



Website www.veneto.eu

